

# 会 議 記 録 書

件 名	令和元年度 第6回 さむかわ次世代経営者研究会 第4回 さむかわ次世代経営者勉強会 合同開催
日 時	令和元年9月13日（金） 16：30～ 18：30
場 所	寒川町役場 本庁舎2階 災害対策本部室
出席者	別紙出席者名簿のとおり
議事録	<p>1. 開会</p> <p>2. 講演            テーマ：「経済産業省来年度の概算要求について」            ・現在活用できる施策（一部補助金、税制等）」            講 師：経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 地域振興課            係長（神奈川県担当リーダー）中村 文明 氏</p> <p>3. 意見交換</p> <p>【我が国の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業白書と産業構造審議会のどちらも、「事業承継」と「構造変化への対応」（IoT、フリーランス、副業、オープンイノベーション、海外需要の取り込み等）、「防災・減災の取り組み」が焦点となっている。</li> <li>・事業承継税制の拡充により、申請が増えている。</li> </ul> <p>【地域中核企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の稼ぐ力を上げるためには、ニッチトップ戦略が重要。</li> <li>・今年度も経産省にて、地域未来けん引企業を選定する予定がある。            未来企業の基準           <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦（支援機関から）と帝国データバンクからの数字</li> <li>・面白い経営をしている、特徴のある企業も点数が高い。</li> </ul> </li> <li>・近々関東局に町内企業を回ってもらう予定。</li> <li>・年度内には選定される見込み。</li> <li>・選定は今年度で打ち止めの可能性がある。            今後は、更新制や入れ替え制を検討しているので、今年度がラストチャンスかもしれない。</li> <li>・未来企業に選定されている企業は、実際に利益率が高いところが多い</li> </ul> <p>【令和2年度の予算について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の予算案は12月に閣議決定するので、年明けからアンテナ高く情報収集してほしい。</li> </ul> <p>【利用できる支援策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社ごとに何が必要なものなのか精査して、設備導入してほしい。</li> <li>・もの補助は当初のほかにも、補正も組まれる可能性が高い。            ※補正の方で連携企業以外も募集される見込み。</li> <li>・税制と補助金は併用できる。用件だけそろっていればOK。            採択不採択がないものがほとんど。申請書も書きやすくなっている。</li> </ul> <p>【中小企業事業継続力強化計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狙いは中小や小規模事業所にもBCPを作ってもらうこと。            本来は、自ら率先して計画策定に取り組むべきだが、低利融資や財政支援、税制優遇などのアメがあるので上手く利用して欲しい。</li> </ul>

### 【オープンイノベーション】

- ・国の成長戦略の中でも、大学や公的研究機関との連携だけでなく、大企業・中小企業・ベンチャー・大学が連携するアプローチも重要であると位置づけられている。
- ・パートナーとして小回りが利く中小企業に期待が寄せられている。
- ・OIは敷居が高いと感じる方が多いため、関東局としてもその敷居を下げるための取り組みとして、「オープンイノベーションマッチングスクエア」や「KO-LABO」などを発信したり運営したりしている。
- ・チャレンジピッチと呼ばれる、大企業から大学や研究機関、金融機関、行政などに向けて、課題を登壇発表するイベントを開催している。
- ・関東局の取り組みと中小機構の取り組みで重なる部分があるため、連携の強化も進めている。
- ・OIは自社が何を提供できるかという強みを認識していないと、課題を提供されても手を上げられない。

### 【質疑】

- Q. 防災対策として1社だけだとどんな対策を立てればいいのかわからない。  
→若槻先生が作成しているひな形を関東局に確認してもらう予定なので、それを参考にして皆さんにも作成してもらう。次世代の企業には事業継続力強化計画を年内に作ってもらうつもりでいる。(高島)
- どこの企業でも同じような項目は多くなってくるが、操業停止になった場合の連携先の具体化やクラウドの仕組みづくりなどは各社異なってくる。(高島)
- サプライチェーンの中で、BCPを取っていない企業とは取引しないという話も出てきているようなので、今後必要になってくる可能性が高い。(中村)
- Q. もの補助は連携が前提になっているようだが、単独ではできないのか  
→H31補正予算で単独で利用できる補助が出てくるはず  
連携の例としては同じ機械を入れて生産管理システムを作って連携という形が多い。(中村)
- Q. OIは中小企業が抱える課題を解決できるのか？  
→ジェグテックを活用するのがいいかもしれない。  
人に絡む課題であれば産技研も可能。  
いずれにしろ、支援機関（よろず、町、商工会）に頼っていただければ、課題に合ったところへつなぎます。

### その他意見

- ・どの補助金や税制についても事業計画を策定していることが前提となっているので、まずは計画策定を進めてほしい。
- ・アウトプットするにはインプットが必要。
- ・ものづくり白書には、業界の動向を見るのに役立つので、参考にしてほしい。

### 商工会から情報提供

産業ナビ大賞の奨励賞をコーワテックのSAMが受賞した。

この大賞は民間企業が実施するもので、珍しい大賞。

事業計画だけでなく、実績まで伴ったものが表彰される。ハードル高町内で初受賞。今後工場見学なども実施できればと考えている。

#### 4. その他

##### 1. 町から情報提供

- ・テクニカルショウヨコハマに次世代経営者研究会が当選。
- ・自動化診断のご案内
- ・ものづくりWSについてお知らせ。

##### 2. 次回研究会について

日時：2019年10月7日（月） 17：30 ～

場所：災害対策本部室

内容：テクニカルショウについて

日時：2019年10月21日（火） : ～

場所：江東区文化センター レクホール

内容：下町サミット（あすめし会との交流）※参加は有志

日時：2019年11月27日（水）10：00～17：00

場所：ビックサイト

内容：新価値創造展

※12月の日程は、忘年会を兼ねて実施。日程は10月に決定。

##### 3. 次回勉強会について

日時：未定（現在調整中）

場所：

内容：会社見学

以上（終了時間 18：40）